

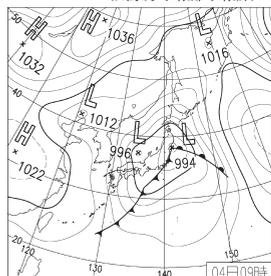
# 日々の天気図

— No. 147

## 2014年4月

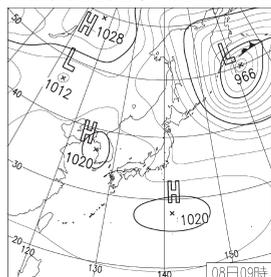
- 3日, 前日に発生したチリ北部沿岸の地震により国内でも津波観測。
- 4日, 上空の寒気の影響で大気の状態不安定。さいたま市で竜巻。
- 中旬~下旬, 高気圧に覆われることが多く, 東~北日本を中心に晴れて空気が乾燥, 各地で林野火災等の発生相次ぐ。

(気象庁予報部予報課)



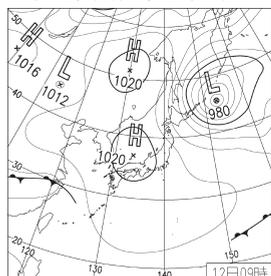
### 4日(金)埼玉県で竜巻

低気圧と前線の影響で, ほぼ全国的に雨, 北海道の一部で雪。西~東日本は上空に寒気が流れ込んで大気の状態が不安定となり広い範囲で雷。埼玉県で竜巻発生, 宇都宮でひょう。



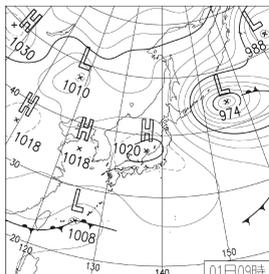
### 8日(火)朝冷えて日中暖か

沖縄・奄美以外は高気圧に覆われ, 晴れて気温上昇。西~東日本は, 朝冷え込んだが, 最高気温は5月並の地点多数。福島市でサクラ開花, 富山市で満開, 新潟県で震度4。



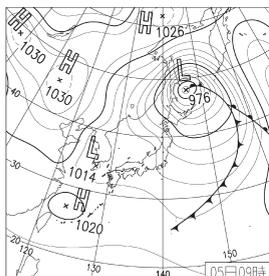
### 12日(土)西から天気下り坂

気圧の谷の影響により, 西日本の太平洋側で雨。冬型の気圧配置となった北日本は太平洋側で風が強, 宮城県大崎市古川で最大瞬間風速24.3 m/s。新潟市でサクラ満開。



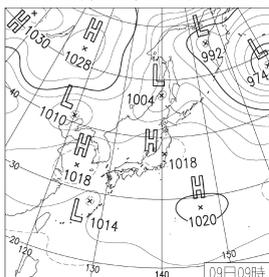
### 1日(火)お花見日和

沖縄・奄美は低気圧の影響で雨, 北海道オホーツク海側は寒気流入により曇り, その他は移動性高気圧に覆われて晴れ。金沢市でサクラ開花, 徳島, 神戸, 奈良, 津, 熊谷各市で満開。



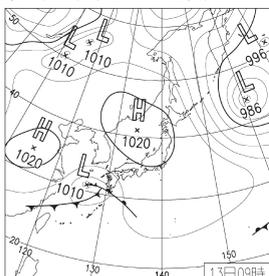
### 5日(土)花冷え

真冬並の寒気が入り全国的に低温。北日本の広い範囲や関東山沿いで雪, 北海道の一部で暴風雪。沖縄・奄美は晴れ。午後は低気圧の東進により西日本, 東海, 関東で雨域拡大。



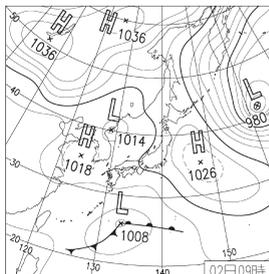
### 9日(水)本州中心に晴れ

北海道と沖縄・奄美は低気圧により雨, その他は高気圧に覆われ, 概ね晴れて気温上昇。最高気温が平年より5°C以上高く5月並となった所も多い。彦根市でサクラ満開。



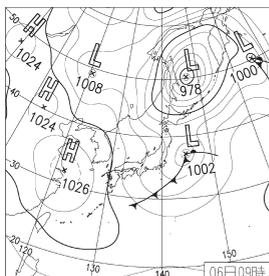
### 13日(日)西日本で雨

西日本は前線を伴った低気圧の影響により雨, 東~北日本は高気圧に覆われて晴れ。鹿児島県屋久島町尾之間で日降水量157.5 mm, 盛岡市でサクラ開花, 福島県で震度4。



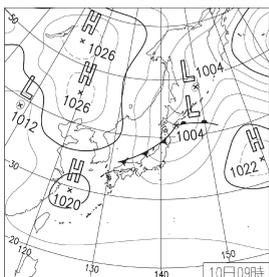
### 2日(水)南米でMw8.1の地震

全国的に概ね晴れたが, 湿った空気の影響で本州の太平洋側は雨。彦根市, 富山市でサクラ開花, 岡山市, 大阪市, 水戸市等で満開。チリ北部沿岸を震源とするMw8.1の地震発生。



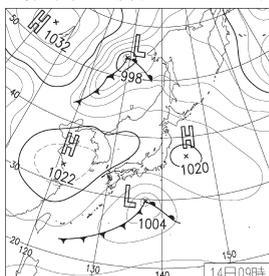
### 6日(日)広範囲で雷

本州上空の強い寒気の影響で大気の状態は非常に不安定。全国的に気温は平年より低く, 広範囲で積乱雲が発達, 雷を伴った雨や雪に, 東京都三宅島坪田で最大瞬間風速32.9 m/s。



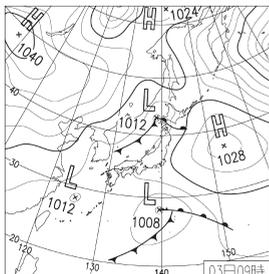
### 10日(木)寒冷前線通過

寒冷前線の通過により北陸や北日本を中心に一時雨。西日本や東海, 関東は晴れ。西日本~東北の太平洋側は前線に流れ込む暖気により気温上昇, 関東中心に最高気温が6月並に。



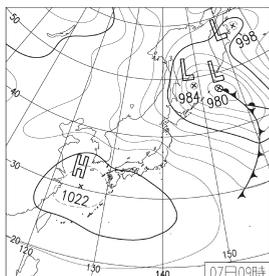
### 14日(月)北海道で気温変化大

南岸低気圧の影響は小さく, 全国的に概ね晴れ。放射冷却により北日本中心に冷え込む。北海道では明け方-10°C以下の地点が, 日中は10°C以上に昇温。山形市でサクラ開花。



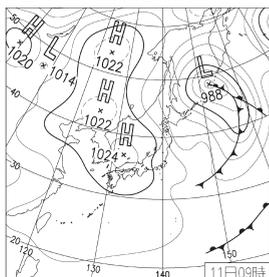
### 3日(木)雨, 全国に広がる

関東南部の雨域が北日本まで拡大, 西日本は別の雨域が拡大し, 夜は全国的に雨。福井市, 前橋市でサクラ満開。岩手県久慈港で, チリ北部沿岸の地震による55 cmの津波を観測。



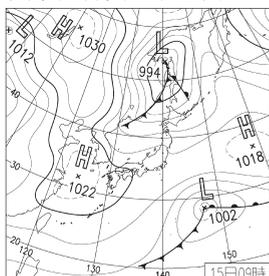
### 7日(月)西~東日本で放射冷却

気圧の谷の影響で曇りや雨となった沖縄・奄美以外は, 寒気も抜け, 高気圧に覆われて概ね晴れ。放射冷却のため, 西~東日本の3地点で最低気温の4月の1位記録を更新。



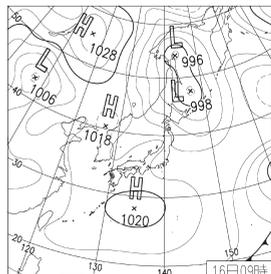
### 11日(金)朝晩冷える

北日本上空に強い寒気が流入, 釧路上空約5000 mでは-42.9°Cで4月の1位。北日本日本海側で曇りや雪, その他は概ね晴れ。長野市でサクラ開花, 福島市, 仙台市で満開。



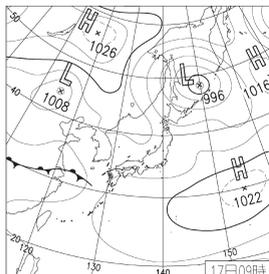
### 15日(火)北日本以外は晴れ

沖縄・奄美~東日本は高気圧に覆われて晴れ, 前線の通過した北日本は午後曇りや雨。中国地方中心に朝冷え込み, 岡山県真庭市上長田-7.3°Cなど4月の最低気温記録更新。



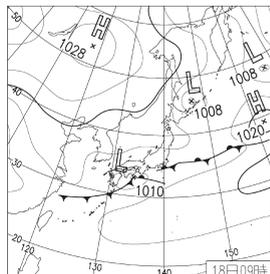
### 16日(水)関東甲信などで夏日

北海道は曇りで所々雪や雨。北日本は風が強く、青森県八戸で最大瞬間風速24.2 m/s。その他は晴れて東北南部以南は最高気温が平年より高く、沖縄や関東甲信など34地点で夏日。



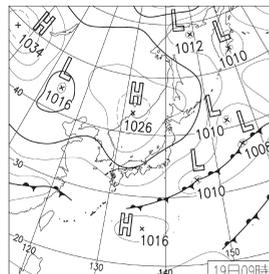
### 17日(木)夜、西から雨

日中は高気圧に覆われて全国的に晴れ、近畿・東海を中心に夏日は今年最多の93地点(全国の約1割)。低気圧の接近により夜は西日本で雨。長野市と山形市でサクラ満開。



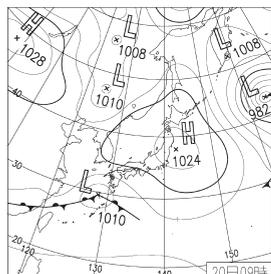
### 18日(金)雨域が東進

西日本の雨は、朝には東日本に到達。九州では、東シナ海からの暖気により気温が下がらず、最低気温が5〜6月並の所多い。茨城県南部を震源とする地震で、茨城など4県で震度4。



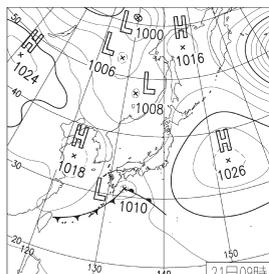
### 19日(土)北日本に寒気

前線に伴う雨域のかかった九州を除き高気圧に覆われて概ね晴れ。寒気により北日本中心に気温はあまり上がらず、最高気温が平年より8℃以上低い所も。網走市でヒバリ初鳴。



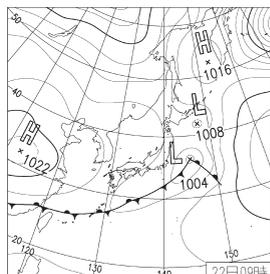
### 20日(日)秋田でサクラ開花

東シナ海の低気圧と高気圧西側の湿った南東風により西〜東日本は曇りや雨。北陸〜北日本は高気圧に覆われて晴れ。西〜東日本太平洋側は低温となり、最高気温が2月並の所も。



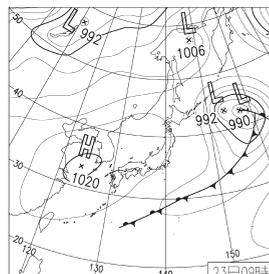
### 21日(月)盛岡でサクラ満開

低気圧の東進に伴い、西〜東日本では雨域が拡大。気温上がらず、最高気温は3月下旬〜4月上旬並。北海道では晴れて気温は平年並に。盛岡市でサクラ満開。



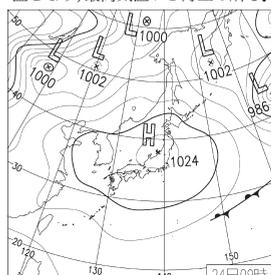
### 22日(火)沖縄で気温上昇

低気圧や前線の影響により、西〜東日本の太平洋側や北海道で雨。前線の南側の沖縄は、日中気温が上昇し最高気温が6月上旬並の所も。青森市で平年より2日早くサクラ開花。



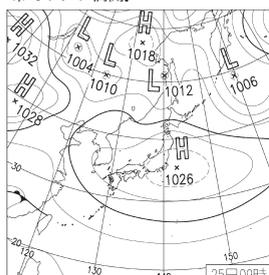
### 23日(水)広い範囲で晴天

前線に近い沖縄で雨となった他は、高気圧に覆われて晴れ。東日本の上空約5500 mには-24℃の寒気が流入し大気の状態が不安定。関東の一部で雷雨。稚内市でウグイス初鳴。



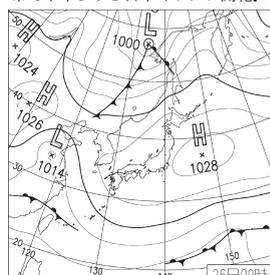
### 24日(木)冬日・夏日の同日記録

気圧の谷で雨となった沖縄を除き高気圧に覆われ概ね晴れ。北日本は日中大きく昇温、北海道の2地点で最低気温が氷点下、最高気温が25℃以上となり、冬日と夏日を同日に記録。



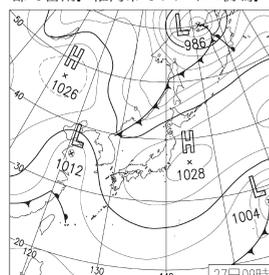
### 25日(金)青森でサクラ満開

高気圧に覆われて西〜北日本は晴れ。上空の寒気の影響で午後は所々にわか雨や雷雨。沖縄・奄美は前線の影響で曇りや雨。北海道は気温が上がって夏日、最高気温が真夏並の所も。



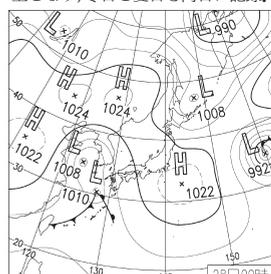
### 26日(土)北海道、夏日続く

先島諸島で曇りや雨、その他は移動性高気圧に覆われ概ね晴れ。最高気温は北海道を中心に全国的に平年より高く、北海道帯広では平年より12.9℃高い27.3℃となり真夏並に。



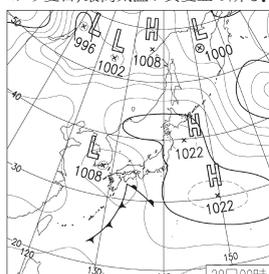
### 27日(日)「桜前線」北海道上陸

高気圧に覆われて広く晴れ気温上昇。北日本は各地で7月並の最高気温。沖縄・奄美は高気圧からの湿った空気の影響で雨。帯広市では観測史上4番目に早いエゾヤマザクラ開花。



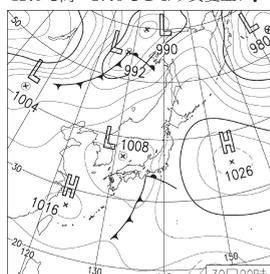
### 28日(月)台風第5号発生

動きの遅い低気圧や前線により沖縄・奄美〜西日本では雨。マリアナ諸島で台風第5号発生。4月末までの台風発生数5個は、1971年以来的の早さ。函館市でサクラ開花。



### 29日(火)西日本太平洋側で大雨

前線が西日本の南岸をゆっくり東進、和歌山県新宮で4月の1位更新となる日降水量242 mm、徳島県美波町日佐で55 mm/1 h など大雨に。室蘭市と札幌市でサクラ開花。



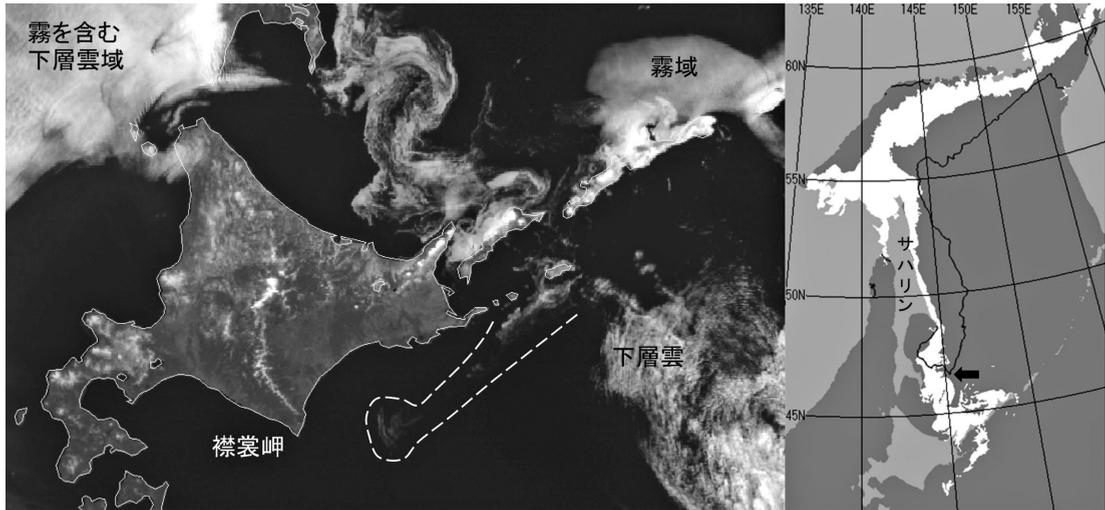
### 30日(水)東海地方で大雨

南岸の前線がゆっくり東進、雨域は東〜北日本へ移動。沖縄・奄美も湿った気流の影響により所々で雨。静岡市梅ヶ島で4月の1位更新の日降水量170 mm等、静岡県中心に大雨。

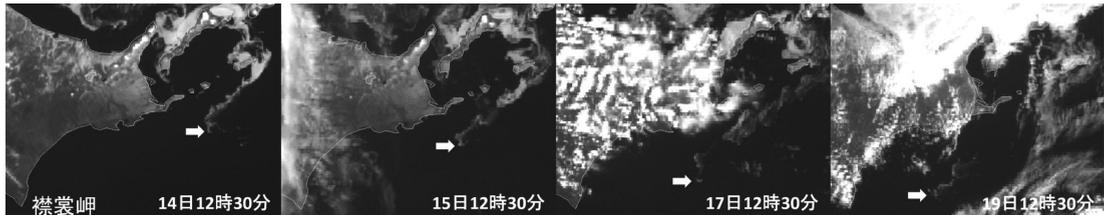


## 今月のひまわり画像—2014年4月

### 襟裳岬以南で4月に初めて確認された海水



第1図 2014年4月20日12時30分（日本時間）の北海道付近における可視画像。右図は同日の海水分布図で、白い領域が海水、矢印の先の黒い線は平年の海水縁、破線については本文参照。



第2図 14日～19日の12時30分の道東付近における可視画像。矢印の先が海水の南縁。

気象衛星の画像は気象以外の分野でも利用されており、その一つとして海水解析が挙げられる。第1図は2014年4月20日12時30分（日本時間）の可視画像で、襟裳岬の東に薄っすらと白い海水域（同図において破線で囲まれた海域）を確認できる。同図右の海水分布図によると、同月下旬の海水の南縁は、平年（1981～2010年の平均）ではサハリンの東付近であるが、今年は上旬から中旬にかけて、海水がオホーツク海から太平洋に流出し、22日には襟裳岬の南東約100 km 付近に達した。その後融解し、25日には解析が困難となったが、海水解析が開始された1971年以降、海水が襟裳岬付近まで南下したことは今回も含めて7回しかなく、4月としては初めてであった。

4月に襟裳岬の南東海域まで海水が南下した要因としては、①同月上旬から中旬にかけて北海道付近を低気圧が周期的に通過して冬型の気圧配置が続き（本誌

「日々の天気図」参照）、気温が平年より低く経過し、海水の融解が遅れた、②同期間、道東では北寄りの風の日が多く、オホーツク海から太平洋へ海水の流出が続き、18～19日に北東風の場合となったため、海水が急速に南下した（第2図）、③釧路沖で海面水温が平年より低い状態が続いた、の3点などが挙げられている。なお、4月20日におけるオホーツク海の海水域面積は、同時期としては1971年の統計開始以来最小であったことも興味深い。

#### 参考文献

札幌管区気象台，2014：2014年3月から4月の北海道南東部の低い海面水温および海水の襟裳岬南東沖への流出について [http://www.data.kishou.go.jp/kaiyou/shindan/rinji/2014/02/rinji\\_sst\\_seaice\\_20140423.html](http://www.data.kishou.go.jp/kaiyou/shindan/rinji/2014/02/rinji_sst_seaice_20140423.html) (2014.5.24閲覧)。

札幌管区気象台，2014：海水概報第4報。

(気象庁予報部予報課 原 基)